

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	Basic Spoken English		
英文授業科目名	Basic Spoken English		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-選択必修科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	廣瀬 友紀		
居室	東1-803		

公開E-Mail	授業関連Webページ
hirose@hc.uec.ac.jp	http://globe.hc.uec.ac.jp/hirose2004/

【主題および達成目標】
<p>本学科では、基本的な英語運用能力を身に付けることによって、学生ひとりひとりの可能性の幅を広げてもらうための英語カリキュラムを用意しています。最終的には、英語を使ってコミュニケーション、情報収集、情報発信、研究活動を行う力をつけることを目標にしますが、この授業(Basic Spoken English)は、そのための第一段階に位置します。ここでは、まず、すでによく知っているはずの基本的な英語表現だけを実際に使って最低限の意思伝達を行う練習をすることです</p>

【前もって履修しておくべき科目】
強いて言えば中学校1?3年生の英語

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
強いて言えば高校1?3年生の英語

【教科書等】
特になし。必要な資料は授業で配布

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

以下のような項目について反復練習ができるような課題（ゲーム、寸劇、インタビュー調査、簡単なディスカッションなど）を設定します。少人数のグループに分かれ、グループ毎に英語話者のアシスタントと一緒に課題を遂行してもらいます。

- 例）・理解できないことを伝える・質問する
- ・依頼・要請を行う
 - ・提案を行う
 - ・自分の意見を表明し、それを説明する
 - ・ある事柄についてその内容を説明する など

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業中の個々の課題の評価点・宿題。

【オフィスアワー：授業相談】

アポイントメントにより随時うけつける。

【学生へのメッセージ】

この授業を履修して、「知っているはずの表現を実際に使ってみる」ための第一歩を踏み出したあとは、どんどん「知っている表現」を増やし、そのまま「使える表現」を増やすことにも努めてください。後期（2学期）は、ネイティブスピーカーによる少人数クラス「Spoken English」が開講されますので、ぜひこれを続けて履修し、「知っているだけでなく、実際に使えるようになった表現」をどんどん活かして、さらに力を伸ばしてください。

【その他】

奥教官および6人のティーチングアシスタントと共同で授業をすすめます。
宿題用のinternet BBS の運営・管理は技術部の金子克己技官の協力によるものです。